



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月9日

上場会社名 株式会社サイゼリヤ 上場取引所 東
コード番号 7581 URL <https://www.saizeriya.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松谷 秀治
問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務本部長兼財務部長（氏名） 潮田 淳史 TEL 048-991-9611
半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	121,572	16.2	6,185	4.2	6,478	△0.1	4,669	82.8
2024年8月期中間期	104,634	24.8	5,934	555.9	6,482	487.4	2,554	328.7

（注）包括利益 2025年8月期中間期 3,712百万円（ 22.6%） 2024年8月期中間期 3,027百万円（ —%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年8月期中間期	円 銭 95.07	円 銭 94.47
2024年8月期中間期	52.15	51.66

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期中間期	171,361	112,880	65.6	2,291.21
2024年8月期	168,136	110,803	65.6	2,246.30

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 112,366百万円 2024年8月期 110,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	258,700	15.2	15,500	4.3	15,700	0.7	10,300	26.4	210.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期中間期	52, 272, 342株	2024年8月期	52, 272, 342株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	3, 229, 965株	2024年8月期	3, 161, 500株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期中間期	49, 111, 490株	2024年8月期中間期	48, 985, 117株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に足跡が残るものの、雇用・所得環境などの改善により、ゆるやかな回復傾向が続いております。しかし、物価上昇、通商政策などアメリカの政策動向、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

外食産業におきましても、賃上げの効果等により、実質所得が増加に転じる中で、個人消費が増加するなど回復の基調を見せつつありますが、昨年より続く米価格の高騰や円安による食材価格やエネルギー価格上昇の影響により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、世界中の人々においしくて健康的なイタリアの家庭料理を店舗で便利に楽しく食べていただく事を目指し、さまざまな施策に取り組みました。2024年9月には、店舗マネジメントレベルと店舗QSCのさらなる向上のため店舗運営部組織ではゾーンマネジャーを2名増員し、7名にして7ゾーン体制としました。QRコードと顧客の携帯端末を使った注文方式の導入については、2025年2月末現在で600店舗に導入し、2025年8月までに全店導入を予定しております。今後もこのような取り組みを進め、収益力の底上げを行ってまいります。また、未出店県である愛媛県に2024年11月、大分県に2024年12月に出店をしております。2025年2月には、既存商品の品質向上のため、春のメニュー変更を行いました。また、2025年1月にベトナムサイゼリヤを設立したため、当中間連結会計期間から連結の対象範囲に含めました。

これらの取り組みの結果、当中間連結会計期間の売上高は、1,215億72百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は61億85百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は64億78百万円（前年同期比0.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は46億69百万円（前年同期比82.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

「日本」は、ゾーンマネジャーの増員による店舗組織の改善、メニュー施策やDX活用の効果などにより既存店の客数、客単価は引き続き、増加傾向にあります。しかしながら、昨年から続く米価格の高騰や円安による食材価格やエネルギー価格の上昇の影響を受けており、売上高は798億14百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は6億44百万円（前年同期比1,747.7%増）となりました。

「豪州」は、当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は54億15百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は2億16百万円（前年同期比37.4%減）となりました。

「アジア」は、新規出店を継続的に進め、店舗数が増加したことなどにより、売上高は417億55百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益53億35百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は1,713億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億25百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産の増加81億44百万円、現金及び預金の減少43億34百万円などです。

負債合計は584億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億48百万円の増加となりました。主な要因は、リース債務の増加23億69百万円、未払法人税等の減少9億62百万円などです。

純資産合計は1,128億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億76百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は65.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、676億14百万円（前年同期比34億64百万円の減少）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、115億66百万円（前年同期比3億93百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益68億29百万円、減価償却費76億27百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、93億32百万円（前年同期比60億24百万円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出89億16百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、60億3百万円（前年同期比10億57百万円の増加）となりました。これは、主にリース債務の返済による支出40億54百万円、自己株式の取得による支出9億41百万円、配当金の支払額12億41百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえて予想した結果、変動が生ずることとなったため、以下の通り修正いたします。

なお、2024年10月9日に発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

2025年8月期（通期）連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	253,600	16,600	16,400	10,300	210	15
今回修正予想（B）	258,700	15,500	15,700	10,300	210	15
増減額（B－A）	5,100	△1,100	△700	—	—	—
増減率（％）	2.0	△6.6	△4.3	—	—	—
前期実績	224,542	14,863	15,585	8,149	166	28

2025年8月期（通期）個別業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	160,000	8,200	5,500	112	22
今回修正予想（B）	168,500	7,800	5,200	106	10
増減額（B－A）	8,500	△400	△300	—	—
増減率（％）	5.3	△4.9	△5.5	—	—
前期実績	146,455	15,835	12,632	257	75

(連結業績予想修正)

個別業績予想を修正したことにより、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回る見込みです。

(個別業績予想修正)

売上高は、メニュー施策やDX活用の効果などにより既存店の客数・客単価は、引き続き増加傾向が継続することを見込んでおり、前回予想を上回る見込みです。しかしながら、上期は、米価格の高騰や野菜などの食材価格上昇の影響を受けており、粗利益率が前回予想を1.2ポイント下回り53.8%となりました。下期も、米価格の高騰や食材価格上昇の影響を引き続き受けることを見込んでおり、下期修正予想粗利益率54.5%(前回の下期予想粗利益率56.0%)、通期修正予想粗利益率54.2%(前回の通期予想粗利益率55.5%)としております。以上のことから、営業利益・経常利益・当期利益は前回予想を下回る見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,949	67,614
売掛金	2,196	2,071
テナント未収入金	3,224	2,005
商品及び製品	14,206	14,888
原材料及び貯蔵品	1,637	1,729
その他	4,944	4,856
流動資産合計	98,158	93,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,562	27,675
機械装置及び運搬具（純額）	1,269	1,503
工具、器具及び備品（純額）	4,727	6,408
土地	6,844	6,824
リース資産（純額）	38	33
使用権資産（純額）	15,694	18,229
建設仮勘定	1,635	3,242
有形固定資産合計	55,772	63,917
無形固定資産	578	570
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,756	11,190
建設協力金	20	16
繰延税金資産	2,723	2,351
その他	136	158
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	13,626	13,705
固定資産合計	69,977	78,194
資産合計	168,136	171,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 8 月31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 2 月28 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,592	9,004
リース債務	7,544	8,268
未払法人税等	2,625	1,662
賞与引当金	1,952	2,196
資産除去債務	259	224
その他	10,670	10,566
流動負債合計	32,644	31,923
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
株式給付引当金	1,439	1,504
リース債務	9,132	10,779
繰延税金負債	9	12
資産除去債務	8,006	8,153
その他	98	107
固定負債合計	24,688	26,557
負債合計	57,332	58,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	11,658	11,868
利益剰余金	84,811	88,237
自己株式	△7,590	△8,220
株主資本合計	97,492	100,497
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,825	11,869
その他の包括利益累計額合計	12,825	11,869
新株予約権	486	514
純資産合計	110,803	112,880
負債純資産合計	168,136	171,361

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	104,634	121,572
売上原価	43,194	50,976
売上総利益	61,439	70,595
販売費及び一般管理費	55,504	64,410
営業利益	5,934	6,185
営業外収益		
受取利息	483	380
為替差益	139	139
保険金収入	0	9
補助金収入	7	70
その他	241	72
営業外収益合計	872	673
営業外費用		
支払利息	274	347
自己株式取得費用	4	6
その他	45	26
営業外費用合計	324	380
経常利益	6,482	6,478
特別利益		
固定資産売却益	—	578
補償金収入	78	—
新株予約権戻入益	40	48
特別利益合計	118	627
特別損失		
減損損失	177	193
固定資産除却損	88	44
店舗閉店損失	75	38
その他	6	—
特別損失合計	347	276
税金等調整前中間純利益	6,253	6,829
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,801
法人税等調整額	2,100	358
法人税等合計	3,699	2,160
中間純利益	2,554	4,669
親会社株主に帰属する中間純利益	2,554	4,669

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	2,554	4,669
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	472	△956
その他の包括利益合計	472	△956
中間包括利益	3,027	3,712
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,027	3,712
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,253	6,829
減価償却費	6,495	7,627
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	359	240
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	86	64
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	44	—
受取利息及び受取配当金	△483	△380
支払利息	274	347
為替差損益 (△は益)	△183	△140
固定資産除却損	88	44
固定資産売却益	—	△578
店舗閉店損失	75	38
減損損失	177	193
保険金収入	△0	△9
補助金収入	△7	△70
新株予約権戻入益	△40	△48
売掛金の増減額 (△は増加)	△75	126
テナント未収入金の増減額 (△は増加)	138	1,218
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,415	△848
その他流動資産の増減額 (△は増加)	△95	641
買掛金の増減額 (△は減少)	42	△527
その他流動負債の増減額 (△は減少)	249	△508
その他	108	△41
小計	12,091	14,218
利息及び配当金の受取額	450	347
利息の支払額	△274	△347
法人税等の支払額	△1,693	△2,731
法人税等の還付額	591	—
保険金の受取額	0	9
補助金収入の受取額	7	70
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,173	11,566

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の売却による収入	13	—
有形固定資産の取得による支出	△3,262	△8,916
有形固定資産の売却による収入	—	88
無形固定資産の取得による支出	△28	△79
敷金・保証金・建設協力金の支出	△319	△543
敷金・保証金・建設協力金の回収による収入	444	196
その他投資に関する収入及び支出（△は支出）	△154	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,308	△9,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,000	△941
リース債務の返済による支出	△3,557	△4,054
配当金の支払額	△892	△1,241
ストックオプションの行使による収入	503	233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,946	△6,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	304	△564
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,223	△4,334
現金及び現金同等物の期首残高	67,855	71,949
現金及び現金同等物の中間期末残高	71,079	67,614

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)を、当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号2024年3月22日)を、当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該実務対応報告第7項を適用しており、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	67,329	12	37,292	104,634	104,634
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,665	—	4,665	4,665
計	67,329	4,677	37,292	109,299	109,299
セグメント利益	34	345	5,556	5,936	5,936

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,936
セグメント間取引消去	△1
中間連結損益計算書の営業利益	5,934

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

不採算店舗の収益性の低下が見られたため、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「日本」セグメント176百万円、「アジア」セグメント0百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	79,814	2	41,755	121,572	121,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,412	—	5,412	5,412
計	79,814	5,415	41,755	126,985	126,985
セグメント利益	644	216	5,335	6,196	6,196

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,196
セグメント間取引消去	△11
中間連結損益計算書の営業利益	6,185

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

不採算店舗の収益性の低下が見られたため、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「日本」セグメント27百万円、「アジア」セグメント165百万円であります。